

第637号 2026年4月1日

昭和女子大学

〒154-8533 東京都世田谷区太子堂1-7-57

編集発行人 学校法人 昭和女子大学企画広報部

昭和學報

S H O W A G A K U H O

INDEX

グローバル	2	キャリア支援	10
学生の活動	4	卒業生訪問	11
CAMPUS LIFE	5	トピックス	12
行事・講座	8		



久慈市を訪れる
外国人観光客を対象に
情報発信の課題を解決する
プロジェクト型学修
学生インタビュー
P4へ

PICK UP

2026年4月

総合情報学部新設

社会で求められているデジタル人材を育成し、理工系分野における女性の活躍を実現するため「総合情報学部」を設置します。



進路指導教諭が評価する大学(女子大学編) 5項目1位*2



*1 2024年度卒業生 実就職率=就職者数÷(卒業者数-大学院進学者数)×100 *2 2025年 大学通信調べ

唯一無二の学びと経験を



昭和女子大学 総長
坂東 真理子

昭和女子大学は2026年で創立106年になる伝統校ですが、内容は「常に進化し続ける改革の歴史」そのものです。2000年以降では、2003年の現代教養学科の設置を皮切りに、10以上の学科新設・改組により数多くの新しい時代に必要な学びを導入しました。2013年に、ビジネス社会の高度化に対応するため、グローバルビジネス学部ビジネスデザイン学科を新設し、2018年には会計ファイナンス学科を設置しました。そして、2026年4月、本格的な理工系学部となる総合情報学部データサイエンス学科、デジタルイノベーション学科の誕生により、昭和女子大学の学びがまた一歩進化します。キャンパスも同様です。2006年にブリティッシュ・スクール・イン・トウキョウ昭和、2019年には米国州立テンプル大学ジャパンキャンパスを敷地内に誘致しました。学生たちが昭和ポストンへ留学したり、協定校でのダブル・ディグリー取得を目指したり、認定留学をしたりという外への留学だけでなく、キャンパスそのもの

の国際化を進めてきました。外国人学生との交流は日常の風景となっています。また学生支援として、2010年にキャリア支援センター、キャリア支援部委員会を配置。1年次からキャリア科目を必修化し、女性の人生でキャリアをどうデザインするかを基礎から学びます。また、社会人メンター制度など新しいサポート体制を整えたことで、実就職率12年連続女子大学ナンバーワンを成し遂げ現在も高い実就職率を維持しています。学びは教室の中だけでは完結しません。学生たちは現実の課題に取り組むために企業や自治体と協力して様々なプロジェクトに取り組んでいます。地方創生の企画、企業のマーケティング、ビジネスモデルの提案など、数多くのプロジェクトがあります。その中には、2022年「NIKKEI全国社歌コンテスト」で最優秀賞を獲得した100周年記念ソングプロジェクトなどもあります。昭和女子大学は常に学生たちの可能性を引き出し、現在の社会で必要とされる力を身につけるにはどうすればよいかを考えて、改革に取り組んできました。結果としてほかの大学では得られない唯一無二の学びと経験のできる大学となっており、今後もそれを追究していきます。

伝統と継続



昭和女子大学 学長
金尾 朗

昭和女子大学での学びは、関わった方々のさまざまな思いでできています。我々はそれらを繋ぎながら、新しい学びを作り出していきます。

ここ数年で大学の学びの空間・環境は充実してきました。学生ホール、学園内のランドスケープ、ラーニングコモンズやCAFE3などは、様々な学生の居場所としての大学空間を形作ってきました。これらの空間は学生、教職員、卒業生などの思いがデザインになったものです。CAFE3は学生も運営に参画しており、教職員一体となった空間作りと言えます。

一方で、私が個人的に興味あるのは、学生が、コロナ禍の期間にたまたまエレベーターホールに置かれた机などを利用し、自分に合った個のスペースを見つけてそれぞれの時間・空間を確立していることです。

昨今、教育の形式の変化の中で、また社会の創造の現場の中でよく取り上げられるのは

グループワークやワークショップなどの複数名でのアクティビティです。そこでは様々な個性が出会い、新しい知が生まれることもあり、本学の教育でもそれらの形式、運営方法が取り入れられています。しかし、そのような時代であるからこそ、「個」のあり方は重要なテーマになっているのではないかと思います。

現代の「個」は多量な情報に晒されており、その形成過程や発展プロセスは多岐にわたると考えられます。様々な分野や多様な社会で、共有される概念や個別の考え方のあり方などは、今後どのように展開していくか興味深いところです。そのような環境の中で、自分のスペースを見つけて時間を過ごしている学生に数多く出会えることは非常に心強いです。この空間で、自由な時間を持ち、大学で出会った知見について考え、個の時間・空間を形作っていただければと思います。そして、進化した「個」を持ち寄って、友人や教職員と語っていただきたいです。

我々はこのような新たな空間を大事にしたいと思います。そして、これからも皆で新たな空間を発見し、作り上げ、繋いでいきたいと思っています。



GLOBAL

昭和女子大学でのグローバルな学び



〈世田谷キャンパスでの学び〉

世田谷にしながらグローバルな体験ができるキャンパス

昭和女子大学は1988年に米国マサチューセッツ州ボストンに海外キャンパス「昭和ボストン」を開設するなど、グローバル教育で日本の最前線を走ってきました。2019年には、米国州立大学の日本キャンパスである「テンプル大学ジャパンキャンパス（以下TUJ）」が本学敷地内に移転したことで、双方の学生が行き来できるスーパーグローバルキャンパスを実現しました。TUJとは、交換協定に基づき、互いの授業を追加の授業料なしで履修できる「単位互換プログラム」のほか、両大学の学位を取得できる「ダブル・ディグリー・プログラム」制度もあります。また、学

生が主体的に行う夏祭りやクリスマスパーティなどのイベントや、秋桜祭、クラブ活動での交流も活発です。さらに1対1で互いの言語を学び合うLEX（Language Exchange）にも多くの学生が参加しています。

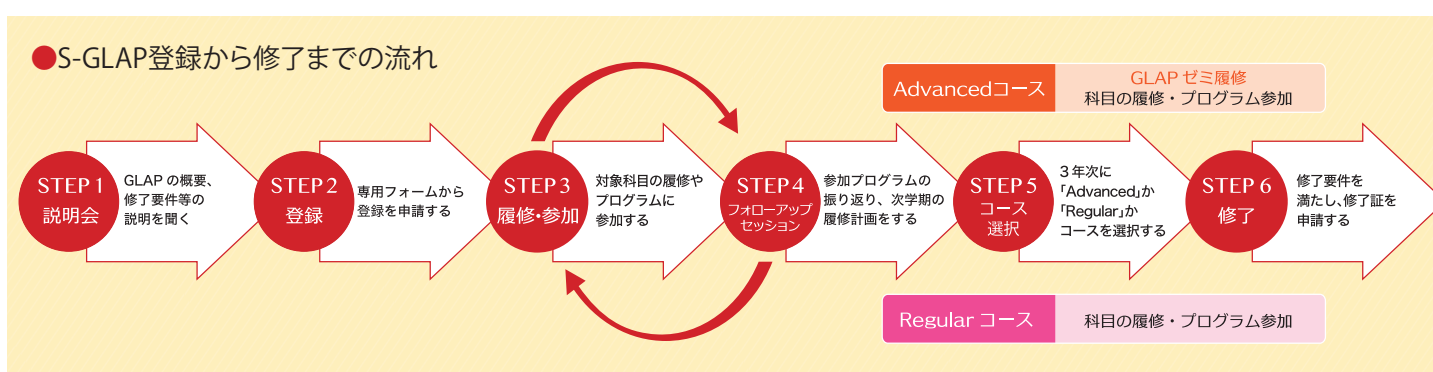
外国人留学生の受け入れについても、世界各国の協定大学からはもちろん、海外からの直接入試を行うことなどで、拡大を加速させています。学内では、異文化交流を目的としたイベントや、外国人留学生をサポートする活動など、多くの学生がリアルな異文化体験をしています。皆さんもぜひ、スーパーグローバルキャンパスを満喫してください。

世田谷キャンパスでの国際交流

ホストシスター	留学生が日本での大学生活をスムーズにはじめられるよう、入寮や役所手続き等を日本語でサポートします。
オンキャンパス：LEX オンライン：LEPP	留学生やTUJ学生と、1対1で日本語や留学生の母語（または得意言語）を使って会話練習や異文化言語交流を行います
にほんごサポーター	留学生対象の日本語授業で、留学生の発表サポートや、授業の課題と一緒に取り組みます。
CHAWA（茶輪）	留学生との交流プログラムを企画・運営する学生団体です。日本の季節や文化を体験できるイベントを企画し、運営しています。

4年間を通じて国際教養を高める「S-GLAP」

全学的なグローバル人材育成を目的とする「Showa Global Liberal Arts Program (S-GLAP)」は、4年間で国際教養を高め、グローバル社会で求められる①語学力 ②知識 ③マインド ④スキルを身につけることを目指す全学横断型の副専攻認証プログラムです。留学がカリキュラムに含まれない学科の学生が対象で、卒業までに要件を満たした学生に修了証を授与します。



新たな留学生対象プログラム Showa Direct 4.5

留学生対象の「Showa Direct 4.5」は、海外から優秀な留学生を受け入れ、4年半で学位取得を目指すプログラムです。最初の半年でアカデミックな日本語を集中的に学び、その後所属学科の正規課程を履修します。さらに文部科学省の「留学生就職促進教育プログラム」として認定された「Showa Direct 4.5就職支援プログラム」では、所定の日本語・キャリア教育・インターンシップ科目の単位を修得することで修了証が授与されます。



2025年4月 健康デザイン学科
正規課程をスタートした留学生

留学生との協働プロジェクトがスタート

昭和女子大学では、海外大学の交換留学生との協働プロジェクトも積極的に行っています。2025年度、新たに現代ビジネス研究所のプロジェクト「留学生×日本人学生 異文化体験企画プロジェクト」が発足しました。このプロジェクトは、国際交流イベント「せたがや国際メッセ」(世田谷区・せたがや国際交流センター(せたがや文化財団)主催)で異文化体験ワークショップを企画・運営することを目標に活動しています。



留学生と日本人学生がともに
プロジェクトに取り組みます

〈海外での学び〉

海外キャンパス 昭和ボストン

アメリカ東海岸の学園都市ボストン郊外にある海外キャンパス「昭和ボストン」。1988年の開校以来、延べ18,000名以上の学生が学んできました。現地教員による少人数制レベル別語学授業や、アメリカ文化への理解を深める授業、興味・専門に応じた選択科目、ボストン近郊の史跡へのフィールドトリップ、地域でのボランティア活動、近隣大学との交流などの実践的な体験を通して、自信を育み、主体的に学ぶ力を培う場となっています。

【全学生対象】 昭和ボストンプログラム	
プログラム名	実施時期
ボストンセメスタープログラム (BSP) 留学がカリキュラムに含まれていない学科の学生を対象とした留学プログラム。レベル別の英語学習、教養・専門科目を履修でき、語学力を問わず参加することができます。(国際学部3学科、ビジネスデザイン学科を除く)	春期・秋期 (約15～19週間)
ボストンサマーセッション レベル別英語クラスに加え、9つのテーマから一つ選択し、英語で学びます。 アメリカ文化、アメリカン・ビジネス、ミュージアム&アート・コレクションズ、心理学、ホスピタリティ、フードマネジメント、アメリカン・メディア、ボランティア、アート&デザイン※ (※環境デザイン学科限定)	8月～9月 (約4週間)
日本文化プログラム 「外から見る日本」をテーマに、日本文化や歴史を英語で学びます。	2月～3月 (約2週間)

このほか、学科ごとに行っているプログラムもあります。アメリカ栄養士研修 (管理栄養学科・健康デザイン学科)、アメリカ初等教育演習 (初等教育学科) 昭和ボストンへのカリキュラム留学 (国際学部3学科、ビジネスデザイン学科)

64 の海外協定校

昭和女子大学には、世界30の国と地域に64※の協定校があります。双方の学生がそれぞれの大学の正規授業を履修し、単位を修得する交換留学はもちろん、各協定校の特色や強みを活かした短期プログラムの提供や、5つの大学とのダブル・ディグリー・プログラムの実施、オンラインによる交流、教員同士の学術交流等、様々な活動を展開しています。協定校で行われる休暇期間を利用した短期の海外研修や学期中の学部授業が履修できる認定留学には、毎年多くの学生が参加しています。

※2025年9月末時点



2つの学位取得を目指すダブル・ディグリー・プログラム

昭和女子大学と海外提携大学の2つの学位(学士)を4年半～5年間で取得する「ダブル・ディグリー・プログラム(DDP)」では、これまで100名以上の修了生を輩出しています。対象学科の学生は、2年次または3年次から提携大学に2年間留学します。文化や歴史、社会など、留学先の大学で正規科目を履修し、語学力だけではなく現地の大学生と机を並べて専門的な学びを深めることができます。参加者の多くは大学入学まで留学未経験ですが、集中的な語学カリキュラムなど、ダブル・ディグリー・プログラム学生用の履修計画に沿って、海外で学位を取得するための語学力とアカデミックスキルを身につけます。留学中の授業料は本学の学納金から充当されるなど(一部留学先を除く)、多くの学生にチャンスが開かれています。

DDP 提携校と修了者 (2026 年 3 月末見込み)		
提携校	開始年度	修了者累積数
上海交通大学 (中国)	2014 年度	93 名
ソウル女子大学校 (韓国)	2017 年度	10 名
淑明女子大学校 (韓国)	2021 年度	18 名
テンプル大学 ジャパンキャンパス (アメリカ)	2020 年度	45 名
クイーンズランド大学 (オーストラリア)	2023 年度	3 名
合計		169 名

D / D / P / 留 / 学 / 体 / 験 / 記 ・ テ / ン / プ / ル / 大 / 学 / ジ / ャ / パ / ン / キ / ャ / ン / パ / ス

私がテンプル大学ジャパンキャンパス (TUJ) のダブル・ディグリー・プログラム (DDP)に興味を持ったのは、高校2年生の頃です。本学の附属校に通っていた当時、進路選択にあたり興味のある学部のお話を聞いたり、授業を体験したりする機会があり、DDPの存在を知りました。特に「日本にいな

がら世界各地から集まった学生たちと肩を並べて学ぶことができる」というTUJの環境に強く心を惹かれました。

ましたが、最初のライティングの授業で、早速挫折を味わいました。日本では馴染みのないテーマでのディスカッションや、読みきれないほどの長文の資料など、課題に追われて寝不足な日々が続き、自信を失いかけてました。

しかし、TUJ生活も2年目となった今は毎日がとても充実しています。必修科目も終え、今一番興味をもっているのは、アートの授業です。日本のグラフィックデザインの歴史や製本の技術を学び、プロジェクトごとに互いの作品を展示して評価し合うことで、さまざまな視

点や発想を得ています。自分の意図していなかった作品の魅力に気づくこともあり、芸術面でも国際交流的にも刺激的な時間です。

授業外では、バドミントンクラブに所属し、友人との会話から、授業では聞けないスラングなどを知ることができるのも面白いです。年末には、友人の帰省に合わせてアメリカを訪れる予定で、それを励みに残りの学期と就職活動を頑張ろうと思っています！

国際学科 高井麗



海外インターンシップ

海外での就業体験や生活を通して、グローバルな環境で働くための力を養う「海外インターンシップ」は、香港とマレーシアの本学提携企業5社のほか、ベトナム、スリランカ、カンボジア、インドネシアで行われる6つのプログラムから選択できます。語学留学などを経て、将来的に海外でのキャリア等を考えている学生にとって、貴重な経験の機会となっています。

海外インターンシップ 体験記

私が海外インターンシップへの参加を決めたきっかけは、2年次に参加したボストンサマーセッションでの学びです。フードマネジメントのフォーカスグループで現地の食文化やその安全性について学び、実際に多様な食文化に触れたことで、海外の食品市場への関心が高まりました。

マレーシアの食品会社でのインターンシッ

プでは、油脂の精製から販売までの流れを学び、ヤシ農園や精製工場も訪問しました。最終課題では「日本とマレーシアの文化を融合したスイーツペカリーの開発」に挑戦し、プレゼンテーションと試食会を実施しました。当初は現地の方々とのコミュニケーションや文化の違いに苦労しましたが、友人や現地スタッフと協力し乗り越えることができました。

宗教的多様性に富むマレーシアでは、宗教によって“食”の価値観が大きく異なることも学びました。

帰国後もLEPPやLEXを活用して留学生との交流を積極的に行い、異文化理解力と語学力を磨いています。将来は、各国の文化や嗜好に合わせた食品の開発など世界中の人々に“食の楽しさ”を届けたいと考えています。



食安全マネジメント学科 前田結菜

プロジェクト型学修の今

「あまちゃん」の舞台
岩手県久慈市を世界にPR

食安全マネジメント学科3年 小杉 菜々子

プロジェクト
100以上
が進行中インバウンド増加を目指し
発信力を強化

大学2年次の2024年から3年次の25年にかけて、「久慈市インバウンド戦略プロジェクト」に参加しました。岩手県の沿岸部にある久慈市は、NHK連続テレビ小説「あまちゃん」の舞台となったことをきっかけに、ロケツーリズムの推進などに取り組んでいます。久慈市と協働で外国人観光客誘致を目指すこのプロジェクトは、遠藤譲一・久慈市長の奥様が本学の出身だったご縁もあり、2020年にスタート。2024年度、現代ビジネス研究所の公募による同プロジェクトには学科・学年を超えた8名が参加しました。

最初に調べたのは、久慈市を含む岩手県の観光の現状です。2023年7～9月の岩手県全体の観光客数は約785万人で、久慈市がある県北エリアは約94万人にとどまっています。久慈市は盛岡市などからのアクセス面が課題で、美しい海や豊かな海の幸を使った郷土料理、地域の伝統に根差したお祭りなどの魅力が十分に伝わっていない面もあります。プロジェクトでは、大学生の視点で久慈市の魅力をInstagramなどで発信するとともに、学内でもその魅力をアピールするため学食で郷土料理を提供し知名度アップを目指して活動しています。

久慈秋まつりに参加 学童で英語教室も

2班に分かれて行った8・9月の現地研修では、9月に600年余りの歴史を持つ「久慈秋ま

つり」に参加しました。法被を着てお店などで音頭をとり、寄付を募る「花もらい」に加わったほか、祭りの最大の見どころでもある高さ12mの山車引きにも参加しました。地域や職員の方々と観光以外についても情報を共有して地域の一員になれたような思いを感じました。

現地研修後も「もう一回行きたいね」という声があがり、国際学部メンバーから、「子どもたちが将来のインバウンド受け入れの力になれるようなことをやりたい」というアイデアが出ました。食安全マネジメント学科の自分からはなかなか出ない考えだと、様々な学科の学生がいることの強みを感じました。

2025年2月に現地の学童保育を訪れ、地域のことを学べる英語教室を行いました。初日は「あまちゃん」のセリフを英語で再現しましたが、「あまちゃん」を知らない子どもたちが多く、2日目は地元の好きな食べ物を英語で紹介してもらうことにしました。急な変更は大変でしたが、「英語で話せて楽しかった」という子ども達の笑顔が忘れられません。

学食で郷土料理を提供 学祭にも出店

11月の学園祭「秋桜祭」では、久慈市を紹介



学童保育で地域について学べる英語教室を開催

する写真を展示しました。久慈市の「黒豆ケーキ」「北かぼちゃ」などのお菓子も販売。初日は売れ行きが伸びず心配でしたが、2日間でほぼ完売となり、多くの人に久慈市の魅力をPRすることができました。

2月には3日間、久慈市の郷土料理「まめぶ汁」を学食で販売しました。他のプロジェクトに参加している友人から「久慈プロジェクトのイベントだね、一緒に行こう」と誘われ、プロジェクトの認知度が高まっていると感じました。



学食で販売した久慈市の郷土料理「まめぶ汁」ポスターも展示しました

久慈市からのメッセージ

2025年度の久慈市での研修は海女文化や郷土食「まめぶ」の作り方を学んだほか、小久慈焼体験、山車の飾り制作体験等沢山の体験をしました。店主や地域の方と会話を交わしながら、歴史や文化に真剣に耳を傾ける皆さんの姿が印象的でした。

このプロジェクトは、久慈市にとって意義のある取り組みであるとともに学生の皆さんの学びの場でもあります。今後も、久慈市と学生の皆さんにとって新たな発見と協働の場になり、実りある取り組みとなれば幸いです。

久慈市商工観光課 担当職員

プロジェクト PICK UP

昭和女子大学では、社会や企業が抱える課題を学生独自の目線で解決する「プロジェクト型学修」を実施しています。学生は社会や企業から評価を受けながら、課題を発見・解決する思考力や行動力を養い、自分の強みを発見することができます。

①子ども食堂ひだまり ②タンザニアさくら女子中学校支援プロジェクト ③せたがや国際メッセを盛り上げよう！留学生×日本人学生 異文化体験企画プロジェクト ④ラグビープロジェクト ⑤長野県小布施町「ウェルビーイングなまちづくり」プロジェクト ⑥昭和女子大学×真多呂人形プロジェクト



プロジェクト活動



このほかにもたくさんのプロジェクトが進行中です。詳細は昭和女子大学のホームページをご確認ください。

新入生
必見!

キラリと輝く 先輩がナビするキャンパスライフ

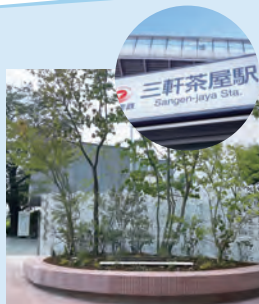
最高の「キャンパスライフ」を送るための情報を詰め込みました。授業も、ランチも、クラブ・サークルも、
全てを楽しむためのコツを先輩たちが全公開。さあ、キャンパスの扉を開きましょう!

センパイの1日 ~ある日のセンパイ~

8:00

キャンパスは便利な「三茶」

世田谷キャンパスは
三軒茶屋駅から
徒歩7分。
正門は卒業生の
建築家永山祐子さん
の設計で、2022年
創立100周年の折に
改修されました。



10:00

勉強や待ち合わせは学生ホールで



勉強やグループワーク、
お弁当を食べたり、友達
との待ち合わせにも使っ
ています。

12:00

ソフィアでサクッとランチ



お気に入りの
メニュー
唐揚げうどん!

お弁当を持参したり、
食堂に行ったり。
キャンパスには
美味しいものが
いっぱいあります!

14:00

西洋美術史ゼミに
所属しています。
自分でテーマや
研究対象を決めて、
先行研究や資料の
分析を行い、
発表します



視野がひろがるゼミ活動

16:00

心豊かな世界を開く 文化講座

人見記念講堂で
行われる
女性教養講座で
他学科の友達と
司会を担当。
緊張しましたが
二人でがんばりました!



18:00

クラブ・サークル活動



ダンス×ボランティア「Encore(アンコール)」に
所属。地域イベントなどで活動することもあります。

迷子ゼロ宣言!!

サクッと
わかる

建物ナビ

1号館(B1)~10号館(B10)まで

飲み物自販機 食品自販機 コンセント

3号館



RF ゴルフ練習場
5F
4F
3F 国際学部事務局
2F
1F CAFE 3
ラーニングcommons
グリーンホール

9号館



3F 食健康科学部事務局
1F セミナールーム
測定演習室
B1 アリーナ

7号館



2F 博物館学実習室
1F 光葉博物館
B1 電子顕微鏡室
5F 歴史文化学科教授室
学生ラウンジ
4F X線装置室
女性健康科学研究室
研究支援機器センター

8号館



2F 現代教育研究所
1F
連絡通路 B1・3F

4号館



3F 音楽室
音楽体育室
B1 ピアノ練習室

6号館



2F 現代教育研究所
1F

1号館



3F 日本語日本文学科教授室
2F 集会室
キャリア支援センター
国際交流センター
アドミッションセンター
1F 保健管理室
証明書発行機
教学支援センター
B1 カフェテリア・ソフィア

2号館



1F セミナールーム
給食経営管理実習室
給食経営管理実習食堂

10号館



1F 総合情報学部事務局
情報科学研究所

2026年4月
スタートの
総合情報学部は
10号館!



正門

SHOWA WOMEN'S UNIVERSITY CAMPUS MAP

昭和女子大学を学報委員が紹介します

CAMPUS MAP

昭和女子大学WEBサイトより
記事の全文がご覧いただけます



2025 年度学報委員



「国際交流センター」で一步踏み出すきっかけを ①

1号館2階には海外研修や留学をサポートする国際交流センター(CIE)があります。

学生に気軽に来てもらえるように、CIEでは月に1回国際交流イベントを開催しています。ボードゲームやクイズなど参加しやすいプログラムでお菓子も用意されているそうです。

CIE前の廊下には、留学や国際交流イベント、海外ボランティアなどの資料があり、自由に閲覧したり、資料をもらうことができるようになっ

ています。「ふらっと来て、資料を見るだけでも大歓迎です」と職員の方。英語に苦手意識のある人でも参加しやすいプログラムもあるそうなので、ぜひCIEへ足を運んでみてください!



(星咲織)

学生の就活をサポート「キャリア支援センター」 ②

就職活動への様々なサポートを行うキャリア支援センター。特に力を入れている3つの取り組みを紹介します。

①個別面談

職員やキャリアカウンセラーによる面談があります。就活やキャリアについての相談を随時受け付けています。

②社会人メンター制度

本学独自の制度で、20~70代の約350名

の女性メンターが登録しています。多様な背景をもつ社会人との対話でキャリア形成を支援します。

③講座、求人情報の提供

対面だけでなく、在学生向けサイトからオンデマンドで視聴できる講座も。お勧めは『模擬グループディスカッション実践講座』などの応用講座だそうです。

(高須結菜)

探究のプラットフォーム「図書館」 ③

8号館3・4階にある図書館は、学生の学びと探究を後押しする「知の拠点」として、日々進化を続けています。

約61万冊の図書、約1万7千タイトルの雑誌、約160タイトルの新聞をはじめ、マイクロフィルムや視聴覚資料約3千点、電子資料約1万8千タイトルを所蔵し、中には国立国会図書

館にもない貴重な文献も含まれています。

図書館は、3階がグループディスカッションやアクティブラーニングのための動の空間、4階は個人が集中するための静の空間というように、使い分けができます。皆さんも図書館を利用して自分の世界を広げてみてはいかがでしょうか。

(伊久間彩愛・鈴木見晃)

「ラーニングcommons」の使い方は学生次第 ④

3号館と8号館の1階にあるラーニングcommonsは、学生が自由に学修活動を行うためのオープンスペース。

落ち着いていて静かですが、その静けさが絶妙で、居心地がいい空間です。Wi-Fiも安定していて、筆者にとってレポート作成には最適な環

境です。さらにパソコンの充電ができること、コピー機が学生ホールと比較すると空いていること、そして学生ホールより1時間遅い21時まで利用できることなど、学修環境として優れた条件が揃っています。

(東出みずゝ)



＜推し!MEMO＞

★ 7号館光葉博物館



2024年開館30周年を迎えました。昭和之泉を臨む落ち着いた展示室は学芸員課程の実習の場でもあります!

★ 8号館1階学生ホール

電子レンジ・自販機、コンセントあり! 西側のラーニングcommonsには証明書発行機があり、学生証のチャージも可能!



★ 8号館6階PC教室

授業で使用していなければ自習で利用可能。学生証が必要ですが、忘れた場合は同じ階のコンピュータ事務室へ! また、オンデマンドプリンタの印刷用ポイントは年度初めに付与されます。

＜ 推し!MEMO ＞

★ 日替わりでやってくるキッチンカー



SDGsのフードロス削減と
防災がテーマの
「レスキューキッチンカー®」は
美味しいカレーを食べて
社会貢献!

★ カフェテリア「ソフィア」

1号館西側の階段を使うと外に
出ずにソフィアに行けます!
2025年6月実施の学報委員
アンケートで人気No.1は、
けんちゃん そば・うどん!



★ いろいろ便利! 1号館1階

- ▶ 学生支援課で傘が借りられます
- ▶ 教学支援センター前に
証明書自動発行機・
コピー機があります



今日のランチ、どこです?

● カフェテリア「ソフィア」(1号館地下1階)

10:30~15:00

麺類や丼ものなど幅広いメニューがあります。
日替わりランチもおすすめ!

● キッチンカー (1号館前)

日替わりで色々なメニューが楽しめます!

● 学生ホール (8号館1階)

お弁当販売や自動販売機で軽食が購入可能。

● ショップ プレリウド (人見記念講堂地下1階)

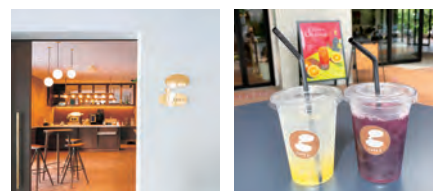
おにぎりやパン等購入でき、イートインスペース
もあります。

● CAFE 3 (3号館1階)

10:15~17:00

ドリンクとスイーツがあります。
期間限定メニューもおすすめ。

昼休みはどことも混雑するので早めに動くこ
とがポイント。素敵なランチタイムを楽しんで!



ほっと一息「CAFE 3」 ⑤

3号館1階に位置するCAFE 3。「ちょっと高
級、ちょっと贅沢、ちょっと大人」をコンセプト
に2022年にオープンした。

CAFE 3といえば、季節ごとに提供される限
定メニューが大人気で、筆者もこの限定ドリン
クを楽しみにしている。2024年6月に限定メ
ニューとして発売された「カシスオレンジ」は、
夏にぴったりのさっぱりとした味わいで人気が

あり、その後レギュラーメニューとなった。学生
スタッフによれば「次のシーズンを意識したフ
レーバーを、月1回のミーティングで決定して
います」とのこと。

CAFE 3は昭和女子大学にかかわる人の憩
いの場であり、まさにカフェのコンセプトである
第三の居場所、「サードプレイス」だといえよう。
(彼末茉耶・松野文香)

未来を照らす舞台 人見記念講堂 ⑥

人見記念講堂は、創立者人見圓吉先生の志
を受け、創立60周年(1980年)の春に建設
されました。地上5階・地下2階、延べ床面積
14,168㎡、収容人数2,070人という、大学
ホールとしては類を見ない堂々たるホールで
す。附属校や大学の式典や授業のほか、外部
にも貸し出され、年間150回以上のバラエティ

豊かなステージが繰り広げられています。

講堂は音の余韻についても細やかに考えら
れ、生の音楽が「近く・優しく響く」ように設計
されています。演奏者が近くにいるような、豊
かで温かな音が魅力です。この講堂での様々
な経験が、私たち学生一人ひとりの「光」となる
ことを願っています。
(黒岩絢音)

クラブ・サークル、委員会活動の拠点 コスモス館 ⑦



本学には40を超えるクラブ・サークルと4つの
委員会があります。その団体の主な活動拠点が、
3号館の奥にある、3階建てのコスモス館です。

コスモス館の名称は、学園祭である「秋桜
祭」やギリシャ語のkosmo(秩序と調和のある
世界・宇宙)に由来しているそうです。コスモス
館には、クラブ・サークル、委員会あわせて34
団体の部屋があります。

委員会室を含め、大きな部室と音楽練習室、
14の部室と倉庫やラウンジがあります。

団体ごとに使い方は様々ですが、クラブ・
サークル、委員会に所属する学
生にとってコスモス館は活動拠
点であり、憩いの場でもある大
切な場所となっています。

(水野絢音)



★ 講堂地下のショップ プレリウド



本が10%オフで
買えるほか、
軽食や飲み物、
文具等も買える!

2026年度 スケジュール

主な行事日程		1年	2年	3年	4年	就職活動支援講座			
4月	オリエンテーション・各種ガイダンス、健康診断 4日(土)入学式 10日(金)新入生歓迎フェスタ 11日(土)前期授業開始 22日(水)第1回学友会学生総会	QUEST プログラム	就活 スタートアップ 講座		第1回SPI能力 模擬試験	基本講座 応用講座	学内合同 企業説明会 (4・5月)		
5月	1日(金)創立106周年記念式 2日(土)創立記念日(休講) 20日(水)避難訓練(12:05-12:20)※雨天時は27日(水)に順延				学内合同企業 説明会(5月)				
6月	13日(土)保護者懇談会		就活 ステップアップ ゼミ						
7月	8日(水)第2回学友会学生総会								
8月	夏季休暇(8/1~9/30)								
9月									
10月	1日(木)後期授業開始 14日(水)合同避難訓練(12:05-12:20)※雨天時21日(水)に順延 21日(水)第3回学友会学生総会	就活スタート アップ講座		第2回SPI能力 模擬試験	基本講座	応用講座	学内合同企業 説明会(10月)		
11月	5日(木)先哲の慰霊祭・墓前祭 13日(金)秋桜祭準備(休講) 14日(土)・15日(日)秋桜祭 16日(月)片付け(休講)	4年生による内定者報告会 「内定者報告会」振り返り講座 仕事を知るシリーズ							
12月	冬季休暇(12/26~1/5)	卒業課題 卒業論文 提出		学内合同企業説明会(12月)					
1月	6日(水)授業開始 16日(土)大学入学共通テスト(休講)								
2月	3日(水)後期授業終了 10日(水)年度末総長・学長講話・STUDENTS OF THE YEAR			学内合同企業説明会(2月)			学内個別 企業説明会		
3月	10日(水)卒業式								

2026年度 文化芸術講座I・文化講座一覧

2026年度から文化芸術センターが始動します。2026年度入学生からは1年生全員が「文化芸術講座I」(必修授業)を同時に受講します。2・3年生対象の文化講座(女性教養講座・文化研究講座)はこれまで通りです。

文化芸術講座I 1年生対象		女性教養講座 2・3年生対象			文化研究講座 2・3年生対象	
公演日	公演名	講演日	講題	講師肩書き・講師名	公演日	公演名
4月15日(水)	【講演会】高尾美穂氏	5月20日(水)	地球市民として生きる	千葉商科大学 学長 宮崎 緑	4月14日(火)	オーケストラとソプラノ・テノールによる 《オペラの美しき調べ》 (日本フィルハーモニー交響楽団)
4月21日(火)	春の名曲コンサート (東京フィルハーモニー交響楽団)	6月 3日(水)	なぜ南極に行くのか? -極域研究の魅力と隊長の仕事-	東京大学大気海洋研究所 教授 第66次南極地域観測隊長 原田 尚美	5月12日(火)	日本三大話芸を知る! ～浪曲・落語・講談 聴き比べ～
5月18日(月)	能楽鑑賞会「体感する能」	6月10日(水)	AIの言葉、人間の言葉、 そして自分の言葉に向き合う	言語学者、作家 川添 愛	6月23日(火)	姜 建華 (ジャン・ジェンホワ:二胡) と 仲間たち
6月 5日(金)	都合により公演名は非公開 (オーケストラ&デジタル音楽)	6月17日(水)	100年前の「普通」は、今の「非常識」? ー女性たちの1世紀ー	『MIMOZA WAYS』 企画・製作・翻訳者 国際女性の地位協会理事 リポアル堀井 なみの	7月 8日(水)	イル・ド・フランス国立管弦楽団
7月10日(金)	「建築×音楽」トーク&コンサート	7月 1日(水)	現代に学ばなければなの意味	華道家元池坊 次期家元 池坊 専好	10月29日(木)	キーウ・クラシック・バレエ 「ロミオとジュリエット 全幕」
10月 2日(金)	マリー・アントワネットの音楽室 ～ヴェルサイユ宮廷音楽&舞踏 華麗なる魅惑の世界	10月 7日(水)	子どもの心の声を聴く -"してあげる"ではなく"寄り添う"ために-	名古屋大学医学部附属病院 チャイルド・ライフ・スペシャリスト 佐々木 美和	11月19日(木)	レ・ヴァン・フランセ (木管アンサンブル)
11月 9日(月)	イーハトーブシアター 「真昼の星めぐり」the Musical	10月28日(水)	挫折と覚悟、そして勇気	東京藝術大学理事 ジャーナリスト 国谷 裕子	11月25日(水)	劇団四季ミュージカル「コーラスライン」
12月14日(月)	【映画】「夜明けのすべて」	11月 4日(水)	未定	東京大学名誉教授 國學院大學 教授 吉見 俊哉	12月10日(木)	ザ・キングズ・シンガーズ
		11月18日(水)	女性教養講座専門委員会presents! 特別企画 「好き」を仕事にする(仮)			

2025年度学報WEB記事抜粋

創立105周年記念式を挙行



5月2日の創立記念日に先立ち、1日に人見記念講堂で創立105周年記念式が執り行われた。

式は、中高部の代表生徒による校歌斉唱から始まり、次に創立者人見圓吉先生の声を録音した「開講の詞」が会場に流された。詩人でもあった圓吉先生によって書かれた「開講の詞」

からは、まだ女性教育が盛んでなかった頃に、圓吉先生はじめ創立に携わった方たちがどのような考えで学園を創立したのかが伝わってきて、今私たちが当たり前前に勉学に励めることに感謝し、圓吉先生たちの想いに応えられるように努めなければならないと感じた。

その後、山崎日出男理事長から式辞があり、次いで坂東眞理子総長が祝辞を述べられた。さらに学園創設から現在まで、そして未来への構想を紹介するスライドショー「学園の創立によせて」が学生のナレーションで行われた。学園の歴史について改めて詳しく知り、今後の学園の变革についても知る機会となった。今まで学園が歩んで来た道や、先輩方がどのような想いで私たちに学びの場を繋げてきたのかを知ったことで、私たちはどのように先輩方の意志を後輩たちに繋げていけばよいのかを考えさせられた。

続いて各奨学金の授与や、女性文化研究賞・奨励賞・特別賞の発表があり、最後に祝歌を斉唱し、閉会した。

創立記念式に参列し、学園の歴史や建学の精神について理解を深め、同じ学生の学修成果に触れる良い機会となった。次の創立106周年に向け、日々の学生生活の中で色々なことに挑戦することで、少しずつでも「世の光となろう」という学園目標に近づけるよう励んでいきたい。

(谷 香月)



各奨学金が授与された

女性教養講座

「デジタル社会、政治におけるジェンダー課題」

7月9日、人見記念講堂で女性教養講座が開催され、衆議院議員の牧島かれん先生にご登壇いただきました。牧島先生は、2012年に衆議院議員に初当選後、2015年熊本地震の際に政府現地対策本部長、2021年デジタル大臣等を歴任されています。

講座では、前半はデジタル政策について、後半は政治におけるジェンダー課題についてお話いただきました。講座の最後には、学生が行ったアンケートをもとに牧島先生と4名の学生によるディスカッションも行われました。特に印象に残ったのは、マイナンバーカードと政治における男女差についてです。

「マイナンバーカード、皆さんは活用していますか？」との質問に、挙手する学生はあまり多くはなく、積極的に活用しているという印象はありませんでした。牧島先生によればマイナンバーカードは「自分であることを証明する最もよい方法」とのこと。マイナポータルと組み合わせると、住民票をコンビニで受け取れるなど、行政手続きや情報確認を安全に行うことができ、利便性も高いそうです。



インタビューする学報委員



牧島かれん先生

ジェンダー課題については、政治に限らず日本では残念ながらまだまだ格差が大きいのが現状ですが、学生からの「政治の現場に男女差はあるのか」という質問に対し「ほとんどありません」と牧島先生が明言されたことに驚きました。私たちは「政治家」と聞いて多くの人が中高年の男性をイメージしますが、そうしたイメージから変える必要があると話されていました。そのため、牧島先生が所属する自由民主党では女性議員を今後10年間で、現在の11%から30%まで引き上げることを目標に取り組みを強化しているそうです。

講演終了後、学報委員3名が楽屋にお伺いし牧島先生に質問させていただきました。質問に対し、丁寧に真摯に回答する牧島先生の姿がとても印象的でした。

今回の取材で感じたのは、先生の「誰一人取り残されない社会」への強い思いです。デジタルは目的ではなく手段であり、その先にある人への思いやりこそが本質だということを学びました。デジタル化の根底にある「誰もが取り残されていないと感じられる社会」の実現。今後社会を担う私たちにとって大事な視点が得られる学びの場となりました。

(岩崎菜乃巴・彼末茉耶・佐々木薫乃)

日本語で国際交流をはじめよう！

昭和女子大学のキャンパス内にある米国ペンシルベニア州立テンブル大学ジャパンキャンパス (TUJ) の日本語初級クラスに、3回にわたって参加しました。

私は健康デザイン学科に所属し、学科では食、運動、美容の領域から健康について学んでいます。グローバル教育が盛んな大学にいるのだから、自分でも何かチャレンジしてみたいと思い、この授業に参加しました。

授業に参加するTUJ学生は約15人で、本学の学生を合わせると30人ほどです。私は授業の後半のグループワークに参加しました。TUJの学生2人と昭和女子大学の学生2、3人で1つのグループとなり、はじめに自己紹介をしました。

TUJの学生は、来日後に入学した人や、1学期だけ日本キャンパスで学ぶ人など多様で、自分と同じ1年生であっても、年上の学生が多くいました。アメリカでは自分の学びたくなったタイミングで大学に入学する学生も多く、日本との違いを早速感じました。

授業では趣味や、夏休みの楽しみなど日常的な会話を日本語で行います。TUJの学生と一番盛り上がった話題は、おすすめのローカルフードについてです。写真を見せあい、日本からはすき焼きや洋菓子のおすすめを紹介し、カルフォルニア出身のTUJ学生は、日本の3倍くらい大きいステーキを紹介してくれました。言葉は違っても共感できることがあると、自然と親しくなることができました。日頃健康との関わりで学ぶことの多い「食」が実は文化であり国境を超える力を持つことを改めて感じることもできました。

私にとって、英語のネイティブスピーカーと英語で話すことが難しいと感じるのは、間違え



TUJの学生が外国語である日本語を使って私たちに上手く伝えられない場合や文法を間違えていても、日本語ネイティブスピーカーとして嫌な気持ちになったり、失礼だと思ったりすることは全くありませんでした。この経験から、ネイティブスピーカーに対して間違いを恐れて遠慮したり恥ずかしがったりせず、積極的に話すことが語学学習で大切なのだと感じました。

食以外にも、昭和女子大学の韓国からの留学生とは、好きな音楽アーティストで共通点を見つけ、心の距離が縮まるのを感じました。日本のことを知ろうとする外国の学生と日本語で会話ができることがとても嬉しかったです。

こうした日本語を使う交流は、はじめての国際交流でも安心して参加できます。国際交流に興味のある方はぜひ参加してみてください。また、この交流は、「日本語教育入門」という学部の授業とコラボしています。日本語学習や外国語学習について知識を深めたい人は授業を履修しながらTUJで交流授業に参加することもできます。

昭和女子大学の海外キャンパス昭和ポストンで、健康デザイン学科・管理栄養学科の学生を対象に行われる「アメリカ栄養士研修」プログラムに来年は参加し、食文化とコミュニケーションについてさらに学びを広げていきたいと思います。

(高波さわ)

CAREER

キャリア支援

Girls Be Ambitious!

手厚い就職サポート
昭和女子大学の
キャリア支援キャリア支援部長
加納 輝尚 教授

本学では、学生の将来の夢や目標の実現を応援するために、キャリアデザインポリシーを定め、「キャリア教育」「就職支援プログラム」「社会人メンター制度」の3つの柱でキャリア支援を行っています。

「キャリア教育」では、1年生全員が「キャリアデザイン入門」を必修で学びます。人生100年時代を見据え、自分のキャリアをどう描くかを考えるきっかけになります。2・3年生は、「女性とキャリア形成」(ワークライフバランス型/やりがい・成長志向型)、「女性の生き方と社会」(グローバル志向型/社会貢献・共創型)の4つのキャリア科目の中から興味関心に合わせて選択できます。また、国内外でのプロジェクト型学修や、グローバルな教養を育むS-GLAP、リーダーシップ教育認証プログラムなど、キャリアにつながる学びの機会も豊富です。

「就職支援プログラム」は就職活動の早期化に対応し、低学年から参加できるものを準備しています。適性試験対策、自己分析、エン

トリーシートの書き方、模擬面接など実践的な講座が充実しています。2026年度からは、1年生向けに「QUESTプログラム」がスタート。探求心(Quest)をベースに、Question(課題を問う力)、Understand(状況を分析して理解する力)、Evaluate(分析結果や提案を評価する力)、Solve(課題を解決する力)、Transform(未来を変える力)の5つの力を養います。

「社会人メンター制度」では、約350名の社会人女性から働き方や生き方について助言をいただけます。メンターさんとの対話は、未知の世界に一步踏み出す勇気を与え、視野を広げる絶好の機会となっています。

加えてキャリア支援センターの職員・キャリアカウンセラーによる個別面談やライティングサポート、各学科のキャリア支援部員によるサポートも充実しています。

みなさんの社会的職業的自立を心から応援しています！



*1 2024年度卒業生 実就職率＝就職者数÷(卒業者数－大学院進学者数)×100
*2 2024年度 卒業生1,000人以上の大学(大学通信調べ)

昭和女子大学のキャリア支援システム

	1年次	2年次	3年次	4年次
就職支援プログラム	QUESTプログラム この講座はQUEST(探求心)をベースに課題を問う力(Question)、状況を分析して理解する力(Understand)、分析結果や提案を評価する力(Evaluate)、課題を解決する力(Solve)、未来を変える力(Transform)を培う本学独自のプログラムです。	低学年向けプログラム ●就活スタートアップ講座 ①就職ガイダンス ②2年生からやるべき事 ③2年生から取り組めるプログラム ④経験を基にした軸の仮置き ●就活ステップアップゼミ ●仕事を知るシリーズ ●4年生による内定者報告会 など	就活支援講座 ●基本講座①～⑦ ガイダンス、自己分析、書類・筆記試験対策、面接対策、業界・企業研究、SPI-Webテスト対策 など ●選抜型ゼミ形式講座 大手・人気企業チャレンジ講座 女子大学合同就活ゼミ ●各種応用講座 など 企業説明会 ●学内合同企業説明会	企業説明会 ●4年生学内合同企業説明会 ●4年生学内個別企業説明会 4年生を対象とする本学学生を積極的に採用したいと考えている企業による学内個別・合同企業説明会です。多くの採用担当者と話をすることで業界間の比較、多くの企業ビジネスモデルを効率的に知ることができます。
	個別相談 ●個別相談 ●エントリーシート添削 ●模擬面接			
	情報提供 ●学校推薦インターンシップ ●優良企業の情報 ●就職活動体験記 ●OG(卒業生)名簿 ●学校推薦・取りまとめ求人 ●個別連絡 ●各種情報の発信 など			
社会人メンター	社会人メンター制度 ●個別メンタリング ●メンターカフェ ●メンターフェア ●学科主催メンターイベント			
キャリア教育	キャリアコア科目 ●キャリアデザイン入門(必修) ●女性の生き方と社会(選択)(グローバル志向型/社会貢献・共創型) ●女性とキャリア形成(選択)(ワークライフバランス型/やりがい・成長志向型) ●労働法(選択)			
	インターンシップ(国内) ●説明会 ●セミナー ●マナー講座 ●報告会			
学科	キャリア教育・支援 ●OG(卒業生)懇談会 ●内定者懇談会 ●資格等取得支援 ●留学支援 など			

上記のほか、各種プロジェクト型学修、留学・海外研修・S-GLAPなどのグローバルな学び、リーダーシップ教育認証プログラム、ボランティア活動、光葉キャリア塾での活動などのキャリアデザインに通じる学びの機会が豊富に用意されています。

キャリア支援 Q&A

Q. キャリア支援についてどこで情報を入手できますか？

A. 「キャリア支援センター在学向けサイト」(UP SHOWAお気に入りリンクからジャンプ)で確認できます。新3年生には「キャリアガイドブック」(2年間分のスケジュール付き)を無料で差し上げます。就職活動準備から活動中に役立つ情報が満載です。



在学生向けサイト
(学生限定サイト)

Q. 個人面談は受けた方が良いのでしょうか？

A. 毎年、個人面談を受けて就職活動の準備をした人は、効率よく活動を進め、確実に内定につなげています。ぜひ積極的に利用してください。

個人面談には、エントリーシートや履歴書、面接内容などを持参いただくとスムーズに進められますが、相談内容が決まっていなくても問題ありません！ぜひお気軽にお越しください。

Q. 個人面談を行うのはどのような方ですか？

A. 国家資格を持つキャリアカウンセラーの先生や、就職支援に精通した職員が行います。なお、面談者を選ぶことはできませんので、予めご了承ください。

Q. 1・2年生のうちからできることはありますか？

A. まずは一般教養のキャリア科目を積極的に履修したり、社会人メンターから生き方や働き方についてお話を伺うなどして、キャリアデザインをしっかりと描くことが重要です。

また、就職活動では大学在学中の経験をもとに自己アピールを考えます。普段からUP SHOWAのマイステップ機能を活用し、ガクチカに使える経験や自己分析に役立つ情報を記録しておきましょう。低年次向けキャリア支援講座にもどんどん参加してください。

Q. 就職活動支援講座について教えてください。

A. キャリア支援センターの講座は、体系的に組まれており、段階的に就職活動の準備ができます。受講が必須となっている講座だけでなく、必要に応じて選択講座も受講し、力をつけましょう。

キャリア支援センター

1号館2階 円形ホール

開室時間

平日・土曜8:45～17:00

(予約外面談受付は16:30まで)

※大学が定める休業日除く

進路・キャリアに関することならどのようなことでも相談が可能です。利用料金はかかりません。たくさん資料とともにお待ちしています。

就活体験記 ～キャリア支援センター活用を～



舟田 千彬

(2025年度

食安全マネジメント学科卒業)

エンターテインメント系出版社

(出版プロモーション職) 入社

食安全マネジメント学科に入ったのは、高校時代に化学や生物など、生活に身近な科目の授業に興味があったからです。大学では高校とは違って、何を専門に勉強するかを決める必要があり、自分は「食べることが好きだ」ということもあって、この大学のこの学科を選びました。また、自分の生活になじみのあるジャンルで、楽しく学べるだろうと考えたのも理由のひとつです。

2年生の時に食品会社(お菓子メーカー)とのプロジェクトに1年間参加しました。課題は商品開発で、そこでは「人の手(口)にわたる食品をつくるために地道な作業」が求められます。私自身、消費者向けの仕事に関心があり、自分の学びや行いによって何かが変化することを実感しやすい仕事に就きたいという気持ちがありました。

プロジェクトでは味や調理法も考えましたが、パッケージやキャッチコピーを考えるのが面白くなり、食品でなくてもいいかなと考えるようになりました。

それから、新聞社の事業部や、出版社、映画製作会社、音楽事務所など約30社にエントリーシート(ES)を提出して選考を受け、4年生の6月にエンタメ系の出版社から内定をもらい、入社を決めました。

後輩のみなさんに伝えたいのは「迷ったら全部やってみよう」ということです。ハードルが高く見えたり、「無理だよ」と言われてもチャレンジする。私は自分に自信をつけるために、面接で聞かれそうな質問をたくさん並べて、それに対する答えをできるだけ多く書き出しました。全部で1万字くらいになったと思います。それから、キャリア支援センターを20回くらい利用しました。社会人経験のある方からESの添削や面接練習を受けるのはとても役に立ちました。

【昭和女子大学を卒業後、一歩踏み出して行動し続ける女性を紹介するシリーズ】

卒業生
訪問

大学で得た 広い視野を活かし、 日本と海外を繋ぐ 仕事に携わる

三菱電機株式会社
山本 実紀さん

Profile

2016年、人間社会学部現代教養学科を卒業、新卒で三菱電機株式会社に一般職として入社。国際本部地域統括部に配属。国際本部国際業務部に異動後2023年に一般職から総合職に職種転換した。

総合電機メーカーである三菱電機㈱の国際本部国際業務部で、世界各地の関係会社の統括・支援を担当しています。会社の海外での売上高比率は今や50%を超えており、海外マーケットに対する期待が高まる中で、私はITや宣伝に関する施策を中心に、本部と関係会社との橋渡し役を務めています。売り上げに直接結びつくような業務は多くありませんが、プロジェクトにかかわり、完遂させた時には、レベルアップしたようなやりがいを感じます。

印象に残っているのは、2023年と24年に担当した「CES(Consumer Electronics Show)」です。毎年1月に米国・ラスベガスで開催されるこのイベントは、最新鋭の製品が披露される世界最大級のテクノロジー見本市です。このような大規模なプロジェクトを担当するのは初めての経験でした。ブースの作り方からトレンドの研究に加えて、社内の製品を学び直すなどのインプットを心掛けました。米国の関係会社の担当者とミーティングを重ね、無事にイベントを終了することができました。米国と日本それぞれのビジネススタイルを調和させながらプロジェクトを遂行し、最終的にはコミュニケーションの距離が縮まったことが感じられ良い経験となりました。



現代教養学科の国際社会調査研修で

「何でもできる」 環境で得た学び

高校在学時に進学先として、昭和女子大学の人間社会学部現代教養学科を選んだ理由は「何でもできそう」と感じたからです。

学生時代は、主に三つのことに力を入れました。まずは語学です。4年間英語とスペイン語を学び、3年の時には短期間ではありましたが、スペインに語学留学にも行きました。キリスト教とイスラム教が融合する古い街並みが残る地での多国籍な人々との交流は、私にとって忘れることのない大きな経験となりました。

二つ目は国際関係に関する学びです。学科の国際社会調査研修では、モンゴルからロシアへと渡りました。現地の学生と交流したり、遊牧民の生活に触れたりすることで、世界を身近に感じることができました。

三つ目は、地域活性化に関するプロジェクトです。宮城県の仙台市で生まれたこともあり、大学では復興ボランティアに携わりたいと思っていました。「けっぱれ、東北!」という有志のプロジェクトでは、学科の1~4年生のメンバーと力を合わせ、震災で販売が途絶えていた三陸産のワカメなどの販売にかかわりました。宮城県や岩手県の企業



モロッコにて

とアポイントを取り、スケジュールを立て、仕入れから物販までの一連の流れを経験することができました。

教員と学生の距離が近いのが昭和女子大学の魅力です。ゼミの他にも、たくさんの先生にお世話になりました。さまざまな活動を通じて、社会情勢を分析し、考察することができました。

大学の経験の延長線上に 今の仕事がある

現代教養学科では、ディスカッションを重視する授業がいくつかありました。他の人の意見を聞き、自分の常識を見直したり、新たな発見をしたりすることが多く、キャパシティが広がりました。仕事では知識を活かす場面、さまざまな意見を整理し分析する場面が幾度となく出てきます。大学時代の経験の延長線上に、今の仕事があるのだと感じます。

部活動ではソングリーディング部Sapphiresに所属して、大会やイベントに参加してきました。監督がいない学生主体の部活動でしたので、予算やスケジュール管理など運営も自分たちで行いました。課題に直面することもありましたが、同世代の仲間と共に乗り越えられたことが自信に繋がりました。

大学での4年間はとにかく短いけれど、これまでの価値観が少し変わる場所だと感じました。私の経験から学生の皆さんにお伝えするとすれば、少しでも興味を持ったら挑戦してみるということ、可能であればたくさんの場所に行ってみることを意識していただきたいということです。経験の数だけ可能性が広がったような気がします。今までに触れてこなかったような本を読んでみるのもおすすめです。



ソングリーディング部 Sapphiresで

女子大は自分の個性や 内面に向き合える環境

私は高校まで共学校で学んできたので、入学前は、女子大って何のためにあるのだろうと思っていました。卒業して10年が経ち、今だから気づく女子大の良さがあります。女子大は「自分らしさ」を発見しやすい環境です。社会に出ると、意図しなくても「女性らしさ」が求められ、その枠組みの中で過ごさざるを得ない状況もあります。「女性らしさ」を強要されない女子大だからこそ、「女性」というフィルターなしに、ダイレクトに本来の自分の個性や内面と向き合うことができました。自分らしさを再発見させてくれた昭和女子大学に感謝しています。

入社以来、常に新しいことにかかわることができる環境にやりがいを感じています。2023年には総合職に職種転換し、新たなフィールドでの挑戦が続いています。直近では海外の関係会社を含む社内のITインフラ整備に携わっています。知識を深め、さらに加速するテクノロジーを冷静に分析できるようになりたいと思っています。「常に挑戦し続け、できれば海外と繋がっていたい」という気持ちがあるので、その願いを叶えるためにこれからも自分らしさを大切に進んでいきたいです。

STUDENTS OF THE YEAR
TEACHERS OF THE YEAR 表彰式

2月9日(月) 総長・学長講話において、2025年度STUDENTS OF THE YEAR・TEACHERS OF THE YEARの表彰式が人見記念講堂で行われ、学生64名と教員3名に表彰状が授与されました。これは学内外で活躍した学生や教員をロールモデルとして顕彰し、学内の士気を高め教育の質向上につなげることを目的として2010年度にSTUDENTS OF THE YEARが、2017年度にTEACHERS OF THE YEARがはじまりました。

STUDENTS OF THE YEAR

個人3名、4団体 対象学生64名

- 人間文化学部歴史文化学科 民俗芸能の次世代継承プロジェクト
神奈川県民俗芸能保存協会と協働し、伝承者の交流機会の創出や普及活動を推進し、大きな成果をあげました。
- 国際学部国際学科4年 福嶋 美咲
全日本中国語スピーチコンテスト全国大会奨励賞受賞、国際コンクール上位入賞を果たすなど国内外で極めて優れた成績を収めました。
- グローバルビジネス学部ビジネスデザイン学科
TOKYO GLOBAL INNOVATION CHALLENGE2025パイオニア賞受賞チーム(PROVENEX)
ビジネスコンテスト「TOKYO GLOBAL INNOVATION CHALLENGE2025」においてパイオニア賞を受賞しました。
- 人間社会学部心理学科4年 鳥生 咲希
世田谷区子ども・青少年協議会の若者委員として2年にわたり若者の視点から区政へ積極的に参画し、地域社会の重要な役割を担いました。
- 生活機構研究科生活文化研究専攻1年 亀井 稚咲
全日本中国語スピーチコンテスト千葉県大会最優秀賞、全国大会奨励賞受賞に加え、樋口一葉と与謝野晶子の比較研究プロジェクトが本学図書館貴重資料等研究調査協力プロジェクトに採択されるなど学術的な貢献も果たしました。
- Sakura Girls Secondary School(タンザニア)支援への市民参加促進プロジェクト
タンザニアの女子教育支援を通じ、国際シンポジウムでの発表や企業連携バザーの運営など多角的な視点で課題解決に取り組みました。
- 秋桜祭実行委員会2024・2025
秋桜祭における自主運営体制の確立に向け業務の明文化や円滑な継承を進め、学生主体による運営を成功に導きました。

TEACHERS OF THE YEAR

個人1名、1団体 対象教員3名

- 人間社会学部初等教育学科 森 秀樹
- グローバルビジネス学部 会計ファイナンス学科 関 憲治・山田 隆

2025年度トピックス

大学・大学院	実施・開催月	内 容
	2025年4月	●2025年度入学式 1,720名が入学(4/5) ●国際学部 国際日本学科開設
	5月	●創立105周年記念式 举行 (5/1) ●大学院 心理学専攻 第7回公認心理士国家試験合格率100%を達成
	7月	●「2025年実就職率ランキング」で、全国の女子大学で2位、全国の大学で9位(実就職率96.0%、2024年度卒業生1,000人以上)(大学通信調べ)
	10月	●情報科学における産学官連携を推進する「情報科学研究所」を設立 (10/1) ●進路指導教諭が評価する大学(2025年、大学通信調べ)5項目で全国の女子大1位(グローバル・改革力・学生が成長する大学・面倒見・就職) ●総合情報学部の設置が正式に決定
	11月	●第33回秋桜祭 開催 (11/8〜9、来場者12,130名)、ホームカミングデー同時開催
	2026年3月	●2025年度卒業式 (3/11)

グローバル

実施・開催月	内 容
2025年4月	●「Showa Direct 4.5」でベトナムからの留学生3名が正規課程入学
5月	●コロラド大学との国際共修プログラムで日米80名の学生がビジネスコンテスト開催（5/15） ●SWU-TUJダブル・ディグリー・プログラム4期生15名が米国ペンシルベニア州立テンブル大学を卒業（5/16）
8月	●「日中韓プログラム」本学で9回目の開催 日本、中国、韓国的女子大学生が女性のリーダーシップについて議論
10月	●「Showa Direct 4.5」2期生（中国5名・ベトナム2名）7名が入学
11月	●日米英3校による国際共修授業「International Japan Studies」日本のジェンダーギャップ等の課題解決に向けた提案をプレゼンテーション（11/1）

2025年度全学対象留学・短期海外研修プログラムの参加者数

●ボストンサマーセッションプログラム：71名

●日本文化プログラム：16名*

●アメリカ栄養士研修：34名*

●アメリカ初等教育演習：23名*

●春期・秋期ボストンセメスタープログラム：11名

●梨花女子大学校韓国語研修：11名*

●チェンマイ大学英語研修：4名

●海外インターンシップ：6名

●日中韓プログラム：9名

●アルカラ大学スペイン語研修：5名*

●クイーンズランド大学英語研修：11名*

●ヨーロッパ歴史演習：41名*

●ヨーロッパバグストロノミー研修：22名*

●交換認定留学：16名

●私費認定留学：11名

●TUJ認定留学(授業履修・ブリッジ)：11名

●TUJ科目等履修：13名

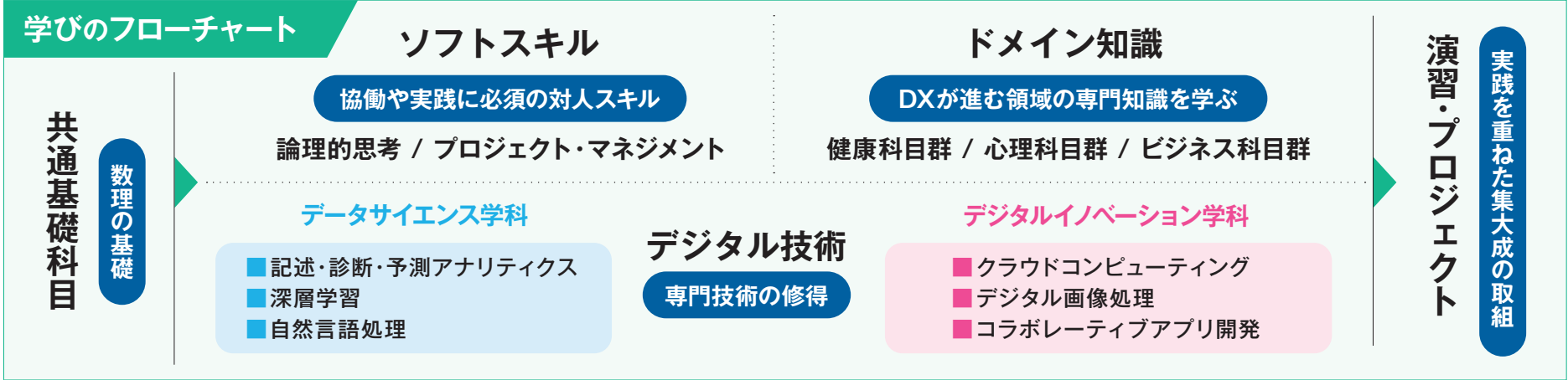
*見込み人数

2026年 4月 総合情報学部を新設

データとデジタル技術の活用において先端を走る企業との議論に基づき、文理融合カリキュラムを編成。
《デジタル技術》《ソフトスキル》《ドメイン知識》の3分野の専門性を兼ね揃えた人材を育成します。

データサイエンス学科
(入学定員60名)

デジタルイノベーション学科
(入学定員50名)



学報委員募集中です！

昭和女子大学の歴史ある大学新聞「昭和学報」。ウェブサイトでも通年で記事を掲載しています。興味のあるテーマを企画、取材し、記事を執筆することが主な活動です。書くことが好きな人、初めての人でも大歓迎です。

学報委員会
募集フォーム

昭和女子大学の今を
各種メディアで発信中！

swu.ac.jp

@insta_swu

@ShowaJoshi

@swu_official (公式)

@swu_tv (昭和女子大TV)

@TV-ih8zz (昭和女子大TV)